

福島第一原子力発電所の状況

平成 26 年 2 月 12 日
東京電力株式会社

< 1. 原子炉および原子炉格納容器の状況 > (2/12 11:00 時点)

号機	注水状況		原子炉圧力容器 下部温度	原子炉格納容器 圧力*	原子炉格納容器 水素濃度
1 号機	淡水 注入中	炉心スプレイ系：約 2.0 m ³ /h	15.0 °C	106.3 kPa abs	A系： 0.06 vol%
		給水系：約 2.5 m ³ /h			B系： - ※ vol%
2 号機	淡水 注入中	炉心スプレイ系：約 0.9 m ³ /h	24.7 °C	3.87 kPa g	A系： 0.03 vol%
		給水系：約 3.5 m ³ /h			B系： 0.01 vol%
3 号機	淡水 注入中	炉心スプレイ系：約 2.4 m ³ /h	22.2 °C	0.23 kPa g	A系： 0.08 vol%
		給水系：約 2.0 m ³ /h			B系： 0.07 vol%

*：絶対圧(kPa abs) = ゲージ圧(kPa g) + 大気圧(標準大気圧 101.3 kPa)

※：検出器異常に伴いデータ欠測

【2号機原子炉注水流量調整】

- ・H26/2/6 13:09～13:19 2号機について、今後の作業や工事において、炉心スプレイ系を停止して給水系で全量注水する対応が必要になることから、事前に給水系の全量注水試験を実施し、原子炉冷却状態への影響を確認するため、原子炉注水量総量(4.5m³/h)を維持しながら、段階的に炉心スプレイ系から給水系へ乗せ替える操作を実施する。最初の操作として炉心スプレイ系の注水流量を2.5m³/hから1.5m³/hへ、給水系の注水流量を2.0m³/hから2.9m³/hへ変更。
- ・H26/2/12 10:08～10:23 原子炉注水流量の調整を以下の通り実施。
 - 炉心スプレイ系原子炉注水流量：1.5 m³/h から 1.0 m³/h
 - 給水系原子炉注水流量：2.9 m³/h から 3.5 m³/h
 なお、調整後の原子炉注水流量は安定しており、圧力容器底部温度等に有意な変動は確認されていない。

【3号機原子炉注水流量調整】

- ・H26/2/12 10:30～10:37 汚染水処理の負荷低減等を踏まえた原子炉注水量の低減操作として、3号機の原子炉注水について、炉心スプレイ系からの注水量を約3.0m³/hから約2.5m³/hへ変更(給水系からの注水量は約2.0m³/hで継続中)。なお、調整後の原子炉注水流量は安定しており、圧力容器底部温度等に有意な変動は確認されていない。

【3号機原子炉建屋5階中央部近傍(機器貯蔵プール側)での湯気発生状況】

- ・H26/2/9 8:15 頃 湯気をカメラにて確認。(気象データ [2/9 8:20 時点]: 気温 1.9°C、湿度 94%)
 - ※プラント状況、モニタリングポスト指示値等に異常なし。
- ・H26/2/12 8:15 頃 湯気をカメラにて確認できないことを確認。(気象データ [2/12 8:20 時点]: 気温 2.6°C、湿度 62.7%)
 - ※プラント状況、モニタリングポスト指示値等に異常なし。

< 2. 使用済燃料プールの状況 > (2/12 11:00 時点)

号機	冷却方法	冷却状況	使用済燃料プール水温度
1 号機	循環冷却システム	運転中	10.0 °C
2 号機	循環冷却システム	運転中	9.7 °C
3 号機	循環冷却システム	運転中	7.9 °C
4 号機	循環冷却システム	運転中	13.3 °C

※各号機使用済燃料プールおよび原子炉ウエルへヒドラジンの注入を適宜実施。

- ・H25/11/18 15:18～ 4号機使用済燃料プールから燃料を取り出す作業を実施中。

< 3. タービン建屋地下等のたまり水の移送状況 >

号機	排出元 → 移送先	移送状況
2号機	2号機タービン建屋 → 3号機タービン建屋	2/10 10:00 ~ 移送実施中
3号機	3号機タービン建屋 → 集中廃棄物処理施設（雑固体廃棄物減容処理建屋 [高温焼却炉建屋]）	1/24 14:37 ~ 移送実施中

< 4. 水処理設備および貯蔵設備の状況 > (2/12 11:00 時点)

設備	セシウム吸着装置	第二セシウム吸着装置 (サリー)	除染装置	淡水化装置 (逆浸透膜)	淡水化装置 (蒸発濃縮)	多核種除去設備 (ALPS)
運転状況	停止中	運転中*1	停止中	水バランスをみて断続運転	水バランスをみて断続運転	ホット試験中*2

*1 フィルタの洗浄、ベッセル交換を適宜実施。

*2 当面は、3系列のうち2系列による運転を実施することで2系列運転の稼働率を向上させていくこととし、準備が整い次第、3系列の同時運転を実施予定。

< 多核種除去設備 >

- ・ B系について、腐食対策有効性確認のため、H26/1/25 3:22 に処理運転を停止。2/10、腐食の発生および進展が大きく抑制されており、腐食対策が有効であることを確認したことから 2/12 13:10 より処理運転を再開。
- ・ H26/2/12 13:10 ~ A、B、C 3系列による処理運転を開始。

< 5. その他 >

- ・ H26/1/29 ~ 凍結管を設置するための削孔については、掘りあがった温度測定用の孔にカメラを挿入して、トレンチ内部状況を再度、慎重に確認したうえで削孔開始することとしていたが、トレンチ内部の状況が確認できたことから、凍結管を設置するための削孔を実施中。
- ・ H26/2/11 11:25 頃 免震重要棟南側にある免震棟へ飲料水を送る配管の凍結防止用配管に設置している小弁より飲料水が漏れていることを当社社員が発見。12:35 頃、当該弁の交換を実施し漏えいは停止。漏えいの原因は、当該弁を閉運用としていたため、凍結により破損し漏えいが発生したと推定。
- ・ H26/2/11 12:20 頃 汚染水タンクパトロールにおいて H4 タンクエリア堰内の床コンクリート部に、目視で確認できる範囲で長さ 1.5m 程度の亀裂を協力企業作業員が発見。2/8 (降雪前) の当該堰内水位は 0 cm であることを確認しているが、堰内には積雪があり、亀裂箇所から水ははけることを確認したことから、念のため当該堰内水の分析を実施。また、同日 15:35 頃、H4 東タンクエリアの堰内床コンクリート部に 8m 程度の亀裂があることを協力企業作業員が確認。亀裂部付近に水はなく、亀裂部への水の流入は確認されていない。堰内の水の分析結果については、以下のとおり。

< H4 タンクエリア : 15:28 採水 >

- ・ セシウム 134 : 検出限界値未満 (検出限界値 : 12 Bq/L)
- ・ セシウム 137 : 検出限界値未満 (検出限界値 : 17 Bq/L)
- ・ ストロンチウム 90 : 17 Bq/L

< H4 東タンクエリア : 16:27 採水 >

- ・ セシウム 134 : 13 Bq/L
- ・ セシウム 137 : 45 Bq/L
- ・ ストロンチウム 90 : 2,100 Bq/L

同日、H4 および H4 東タンクエリア堰内床コンクリート部の亀裂について、エポキシ系塗料による補修が終了。H4 および H4 東タンクエリア堰内の当該亀裂部付近に水はなく、亀裂への水の流入は確認されなかった。また、H4 タンクエリアの亀裂について亀裂周辺の雪を取り除いて確認したところ、亀裂の長さは約 12m であることを確認。

また、H4 および H4 東タンクエリアの各タンクの目視点検において漏えい等は確認できず、汚染水タンク水位計による常時監視 (警報監視) においても異常はなかった。

【H4エリアタンク等からの水の漏えい関連】

<トピックス>

- ・H25/12/10 10:10～ 汚染水拡散の防止策として、H4エリア周辺に設置したウェルポイントから地下水の汲み上げを再開。

<タンクエリアパトロール実績 (2/10～11) >

- ・高線量当量率箇所 ($\beta + \gamma$ 線 ($70 \mu\text{m}$ 線量当量率)) は確認されず。なお、積雪による影響のため一部測定を実施していない。
- ・堰床部に雨水が溜まった箇所については、雨水による遮へい効果により線量当量率は低い状態となっている。
- ・目視点検によりタンク全数に漏えい等がないこと (漏えい確認ができない堰内溜まり水内を除く) を確認。
- ・汚染水タンク水位計による常時監視で、タンク水位に異常がないことを確認。

<H4エリア周辺のサンプリング実績>

- ・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

<福島第一構内排水路・南放水口のサンプリング実績>

- ・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

【タービン建屋東側の地下水調査/対策工事の実施状況】

<トピックス>

- ・1,2号機取水口間のウェルポイントおよび集水ピット(南)地下水から立坑Cおよび2号機タービン建屋への移送量は
2/12 0:00 時点で約 $7,702\text{m}^3$ *集水ピット(南)およびウェルポイントの総量

<地下水観測孔サンプリング実績>

- ・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

<移送関係>

- ・2,3号機東側に設置したウェルポイント(バキュームによる強制的な排水設備)からの地下水汲み上げおよび2号機タービン建屋への移送を適宜実施中。
- ・H25/12/11～ 1, 2号機間護岸エリア地下水観測孔 No.0-3-2 でトリチウムが検出されていることから、当該観測孔からの地下水の汲み上げを試験的に適宜実施中。
- ・H26/1/29～ 1, 2号機間護岸エリア地下水観測孔 No.1-16 で高い濃度の全ベータが検出されていることから、当該観測孔近傍に設置した地下水汲み上げ用の孔 (No.1-16(P)) からの地下水の汲み上げを適宜実施中。

【地下貯水槽からの漏えいに関する情報および作業実績】

<トピックス>

- ・H25/7/1～ 拡散防止対策およびサンプリングは継続実施中。
- ・H25/10/3～ 地下貯水槽 No.1 の汚染範囲調査開始。
- ・H26/1/30～ 地下貯水槽 No.1～3 における貯水槽内部の残水について、H1 東エリアタンクへの移送を適宜実施。

<地下貯水槽サンプリング実績>

- ・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

以上